



「安全週間特集」

安全な作業環境と安全な人づくり  
アート金属工業株式会社

☺☺☺ (HP 寄稿通算回数)

弊社の安全衛生方針の冒頭は、「安全は全てに優先する」を全社一致の認識のもと・・・から始まります。しかしながら、生産を優先した事故や、簡単なことも気付かずに発生した事故、やりづらい作業を改善しないまま発生した事故など、日ごろの STOP6 のリスクアセスメント活動や、相互啓発型安全人間の育成など、取り組んでまいりましたが、どうしてもその隙間に入るような事故が発生しておりました。

そこで、昨年度 石原社長からの提案がありました。

「危険に気付ける人を育成してほしい、その成長のレベルが見えること、そして、“風が吹けば桶屋が儲かる”のように、先の先まで読み通せるような人づくりをしてほしい。」

これを受けまして、“気付き能力レベルアップ” 取組みを展開してきました。



	ランク C	ランク B	ランク A	ランク S
危険予知力	通常状態で見える危険が分かる	自分がおこなう作業の危険が分かる	人がおこなう作業を見て危険が分かる	いくつかの事象が重なって変化する危険が分かる
気付く力	見て気付く	ヒヤリ体験から気付く	人の危険行動に気付く	次の展開を予測して気付く
注意力(人)	誰でもわかる	自分は注意してる	人に注意できる	潜在リスクを注意できる



左から、誰が見ても判るものから、人が行う作業、いくつかの事象が重なって起こる危険に気付くなど、ランクを C⇒B⇒A⇒S へランクアップが見えるようなプロセスで、安全な人づくりに取り組みました。

オールアート全社統一の取組みとして、協力工場・海外工場へも教育に出向きました。

上記にありますサイクルで、気付き提案の内容確認をいただいて、上がってきた提案を安全環境室が評価して、所属長へ返却、所属長の作業観察をとおして PDCA を回すサイクルでレベルアップを図る仕組みになっております。

昨年 初年度の目標を、全員 B ランク達成を掲げておきましたが、残念ながら 17%の人が C ランクをクリアできませんでした。

自職場の実力を直視することから工場では要領書の読み込みを毎朝行い、作業要領書の中の安全ポイントも意識して読み込むことで、作業の中の危険を意識できるように活動の PDCA を回しております。

その成果として、やりづらい作業の改善要望などが吸上げられ、各所に改善が進むようになりました。

おかげさまで、2015年「協豊会委員長賞」、2016年「安全トヨタ賞」をいただくことができました。これも一重にトヨタ自動車(株)様、協豊会会員会社様から頂戴した、貴重なアドバイスを基に成長させていただきました。

これに満足することなく、“安全に終わりなし” これからも労災“ゼロ”に向けて愚直に活動してまいります。